

日(曜)	時刻	水位	流速	流量	雨量	気温	水温	PH	電導率	その他(生物、透視度等)					
										cm	目視	m3/分	mm	°C	°C
1	日	16:45	24.2	良流			8.3	14.1	6.8	250			2	14	
2	月	16:45	38.5	泥流		58	16.2	14.7	7.1	156					—
3	火	17:10	26.2	良流			8.4	15.0	6.9	240					— 仕掛け埋没・リセット
4	水	16:50	25.7	良流			5.2	14.3	6.9	250				20	
5	木	16:50	25.3	良流			7.2	13.7	6.9	250	4	1	1	19	タモロコ1 カワセミ1
6	金	16:45	25.1	良流			7.7	12.2	6.9	250			2	4	カルガモ1
7	土	16:35	25.2	薄白濁		5	4.9	11.0	7.0	200	2	1	1	11	カワムツ1
8	日	16:45	24.8	良流			3.9	13.0	6.9	240	1	1	1	9	カワムツ2 タモロコ1 カルガモ2
9	月	16:35	24.6	良流			8.0	11.7	6.9	250			1	10	カワムツ1 カワニナ1
10	火	22:50	24.4	良流		16	11.6	14.4	6.9	250	1		4	13	カワニナ1 カルガモ2
11	水	17:10	23.8	良流		0	13.9	15.3	6.8	250	3			10	カワニナ1 カワカゲロウ1
12	木	17:15	23.4	良流		2	11.3	14.3	6.8	220	1		1	23	
13	金	16:45	23.1	良流			3.6	10.9	7.1	240	1	4	2	23	カワムツ3 ニンギョウトビゲラ1
14	土	16:40	23.0	良流			12.3	12.5	7.0	250		9		15	カワニナ1
15	日	16:50	22.7	良流			7.7	11.4	7.0	230		4	1	8	カワムツ1 ドジョウ特大1 カワセミ1
16	月	17:30	22.6	薄白濁			6.8	11.4	6.9	250					—
17	火	17:00	23.5	泥流		16	9.1	11.3	6.7	164	3		3	22	ヨシノボリ1 カワセミ1 アオサギ1
18	水	16:40	22.5	良流			12.6	14.3	6.5	230	1		1	15	タモロコ2 カワニナ2 カルガモ2 アオサギ1
19	木	17:15	22.4	良流		2	8.4	10.8	6.9	250		3	1	9	カワムツ4 カワカゲロウ1
20	金	17:05	21.6	良流			11.4	13.4	6.8	260	2	1	2	13	カワムツ4 カワニナ1
21	土	17:15	21.4	良流			8.2	11.0	6.8	230					—
22	日	17:00	24.0	良流		3	6.9	9.5	7.0	240		3	3	6	(冬至)
23	月	17:00	23.6	良流		46	4.1	11.5	7.2	230			2	10	カワムツ4 タモロコ2 カワニナ2 アオサギ1
24	火	16:40	22.5	良流			8.8	11.1	6.9	220			2	14	カワムツ1 カルガモ1
25	水	16:45	22.0	良流			3.4	10.0	7.1	240		1		7	ツグミ1 カルガモ2
26	木	16:40	21.7	良流			10.1	11.0	7.1	250			1	7	
27	金	16:50	21.5	良流		0	9.3	11.6	6.9	240			1	8	
28	土	16:55	21.2	良流			3.8	9.5	7.0	240		1	1	14	ニンギョウトビゲラ3 ゴイサギ1 アオサギ1
29	日	16:55	21.1	薄白濁			7.9	10.0	7.2	260				14	
30	月	16:45	21.2	薄白濁		3	7.0	10.1	6.9	240		2		4	カワニナ2 カルガモ6
31	火	17:05	21.0	良流			9.4	12.5	7.0	250	3	4	1	3	カワムツ4 カワニナ1 ニンギョウトビゲラ1 キセレイ1
計			良25		151	8.3	12.2	6.9	236	22	35	34	325	カワムツ25 タモロコ6 ヨシノボリ1 ドジョウ1	
													カワニナ12 ニンギョウトビゲラ4 カワカゲロウ2		

記事

全ての日で水位が21cmを上回り良流は25日であった。そこそこの降水量であったが、先月後半の長雨が効いているようである。PH値は降雨の前後で酸性とアルカリ性を繰り返すが、その変動幅は大きくはない。それに対して気温変化は非常に激しく、地球レベルの気候変動を感じさせられる。オイカワが戻ってきた。並行してカワムツも数を増やしている。共に群れをつくる種である。